

教科
外国語

種目
英語

意見書

発行者
東京書籍

	着眼点	意見															
1	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるための、学年内及び学年間の系統性・発展性	<ul style="list-style-type: none"> ○各 Unit の冒頭と巻末に到達点を示してあり、生徒が目標を意識したり、自己評価をしたりすることができるようによく工夫してある。 ○会話活動から始まり、リスニングを通じて内容や新出表現を確認できるようにするなど、単元を通して 4 技能 5 領域をバランスよく取り組めるように工夫がしてある。 ○Preview のページで目的・場面・状況を示すなど、学習した表現をどのような場面で活用することができるのか、生徒たちが意識して言語活動に取り組めるようによく工夫されている。 															
	(2) 思考力、判断力、表現力等を育むための、言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習	<ul style="list-style-type: none"> ○全学年 3 回の Stage Activity が配置されている。生徒の思考力、表現力、判断力を高められるよう、どの学年にも 4 技能 5 領域がバランス良く配置されている。分かりやすい活動手順と豊富な情報量で、生徒の思考の手助けとなるようによく配慮されている。 ○学年が上がるごとに、言語活動に担当する時間が 2 時間から 4 時間へ段階的に増え、生徒の学習発達に合わせて十分な時間を取れるようによく配慮されている。 															
2	(1) 学習意欲を喚起したり、学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感したりすることができる題材や素材、資料等	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元の最初に写真を載せ学習意欲を喚起すると共に単元で学習する内容や目標がイメージできるものになっている。写真をもとに会話から導入するパターンでは生徒の自由な発想を引き出せる。 ○年間に 3 回 Stage Activity を設定し、既習の言語材料や言語活動を生かして、日常生活や社会に関わる実践的な活動を行えるようによく工夫してある。 															
	(2) 家庭で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で学習を進めることができる内容や構成	<ul style="list-style-type: none"> ○QR コードで本文と語句の音声を聞くことができ、予習や復習で音読や発音練習ができるよう配慮されている。また、一部の QR コードでは動画も視聴でき、教科書題材に関わる事柄について学習意欲を喚起するように、よく工夫されている。 ○Grammar for Communication では、イラストや言葉で分かりやすく、詳しく文法の解説がされている。また、学び方コーナーでは「単語の覚え方」や「文章の組み立て方」などが取り上げられており、自主的に学習できるようによく工夫されている。 															
3	<ul style="list-style-type: none"> (1) 英語で理解したり表現したりする内容として、生徒の関心のある事柄から日常的な話題や社会的な話題までの提示 (2) 効果的に英語学習を進めるための ICT の活用 (3) 小学校での学習との関連に留意した内容の程度と分量 	<ul style="list-style-type: none"> ○1 年では日本の伝統文化、非英語圏の海外の文化について、2 年では地球温暖化、UD、3 年では世界平和、防災、SDGs、パラスポーツなど多岐に渡る社会的な話題を、よく配慮して題材として取り上げ、グローバル社会の一員を育てる意図がある。 ○Unit 0 で 9 ページをかけて、Unit 1 に入るまでに小学校で学んだ音を中心とした英語を文字につなげる段階を設定している。Unit 1 ～ 5 で小学校で習った文型を文法として指導し直せる構成になっている。「小学校の単語」の欄とマークを設定してありよく工夫している。 															
4	(1) 教科書の重量やページ数	<table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">1 年</td> <td style="width: 15%;">A4 版</td> <td style="width: 15%;">415g</td> <td style="width: 15%;">7.1mm</td> <td style="width: 45%;">167 ページ</td> </tr> <tr> <td>2 年</td> <td>A4 版</td> <td>400g</td> <td>7.0 mm</td> <td>159 ページ</td> </tr> <tr> <td>3 年</td> <td>A4 版</td> <td>390g</td> <td>6.6mm</td> <td>155 ページ</td> </tr> </table>	1 年	A4 版	415g	7.1mm	167 ページ	2 年	A4 版	400g	7.0 mm	159 ページ	3 年	A4 版	390g	6.6mm	155 ページ
	1 年	A4 版	415g	7.1mm	167 ページ												
	2 年	A4 版	400g	7.0 mm	159 ページ												
3 年	A4 版	390g	6.6mm	155 ページ													
(2) 文字の大きさ、字間、書体、行間、図版等	<ul style="list-style-type: none"> ○資料の読み取り力を伸ばすために、図表を多く取り入れよく配慮されている。 ○1 年で小文字を書きやすいように 4 線の幅がよく工夫されている。 ○小学校で使用されている書体が使われている 																
(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ○巻末資料が 40 ページ（1 年生）32 ページ（2 年生）40 ページ（3 年生）あり、小学校の単語一覧が配慮して整理されている。 																

教科
外国語

種目
英語

意見書

発行者
開隆堂

	着眼点	意見												
1	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるための、学年内及び学年間の系統性・発展性	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元の Interact の活動では、文や図表から読み取ったことについて話し合ったり、発表したりするなど4技能5領域を統合させて言語活動ができるように工夫されている。 ○新出表現の導入は2コマのマンガ形式で示しており、分からない表現があってもイラストや音声を頼りに内容を推測できるように配慮してある。 ○単元に Retelling の時間が位置付けてある。Retelling がしやすいようにキーワードが示しており、生徒がキーワードを足場としながら活動が行えるように工夫してある。 												
	(2) 思考力、判断力、表現力等を育むための、言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習	<ul style="list-style-type: none"> ○3年間で8回配置された Our Project は、「社会的な場面を想定して、即興でのコミュニケーションができる」というゴールに向けた段階的配置となっており、学年の思考力・判断力・表現力を高められるよう工夫されている。 ○3年生の Our project (PR 活動) では、「声の大きさ」「抑揚」「表情」「ジェスチャー」「感情」にも意識して練習し、発表できるように、表現力を高めることに構成が工夫されている。 												
2	(1) 学習意欲を喚起したり、学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感したりすることができる題材や素材、資料等	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元の最初に写真を載せ学習意欲をよく喚起すると共に単元で学習する内容や目標がイメージできるものになっている。聞き取りから導入するパターンは抵抗感が少なくよい。 ○年間に3回 Our Project を設定し、既習の言語材料や言語活動を生かして、日常生活や社会に関わる実践的な活動をスピーチやプレゼンテーションを通して行えるよう、よく工夫している。 												
	(2) 家庭で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で学習を進めることができる内容や構成	<ul style="list-style-type: none"> ○QRコードで本文の音声を聞くことができ、予習や復習で音読や発音練習ができるよう配慮されている。 ○「英語のしくみ」では、各 PROGRAM で学んだ文法のまとめがあり、予習や復習に活用できるよう工夫された構成となっている。簡潔に示しており、見やすく配慮されている。 												
3	<ul style="list-style-type: none"> (1) 英語で理解したり表現したりする内容として、生徒の関心のある事柄から日常的な話題や社会的な話題までの提示 (2) 効果的に英語学習を進めるためのICTの活用 (3) 小学校での学習との関連に留意した内容の程度と分量 	<ul style="list-style-type: none"> ○1年生では日本の海外の文化、国際理解について、2年生では環境問題、平和学習、日本発祥アニメ文化、3年生では平和学習、環境問題、フェアトレード、AI、などの社会的題材を取り上げ、地球市民としての感性を育てる意図がある。 ○Get ready と PROGRAM 0 で12ページをかけて PROGRAM 1 までに、小学校で学習したことを友達とのやり取りをしながら復習できる。小学校で身につけた英語を使用しようとする意欲を生かしながら、文法として正確性を重視したプログラム構成になっている。 												
4	(1) 教科書の重量やページ数	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">1年生 AB版</td> <td style="width: 15%;">385g</td> <td style="width: 15%;">7.1mm</td> <td style="width: 15%;">160ページ</td> </tr> <tr> <td>2年生 AB版</td> <td>375g</td> <td>7.0mm</td> <td>160ページ</td> </tr> <tr> <td>3年生 AB版</td> <td>360g</td> <td>6.6mm</td> <td>151ページ</td> </tr> </table>	1年生 AB版	385g	7.1mm	160ページ	2年生 AB版	375g	7.0mm	160ページ	3年生 AB版	360g	6.6mm	151ページ
	1年生 AB版	385g	7.1mm	160ページ										
	2年生 AB版	375g	7.0mm	160ページ										
3年生 AB版	360g	6.6mm	151ページ											
(2) 文字の大きさ、字間、書体、行間、図版等	<ul style="list-style-type: none"> ○書体は読みやすく、1年生の最初は文字が大きく、書きやすい手書きに近い書体が使われている。 ○アクションカードがミシン目になっている。 													
(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ○巻末付録が、28ページ(1年生) 24ページ(2年生)、32ページ(3年生)あり、英語の歌、補充単語、などが整理されている。 													

教科
外国語

種目
英語

意見書

発行者
三省堂

	着眼点	意見												
1	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるための、学年内及び学年間の系統性・発展性	<p>○各単元において、GETで言語材料を身につけ、USEで既習の文法事項を活用して言語活動が行えるように構成されている。</p> <p>○各単元のUSEで書く活動、Take Action!でリスニングや会話の活動を取り上げ、単元を通じて4技能5領域をバランスよく育成できるように、よく工夫されている。</p> <p>○Projectでは、学年が上がるにつれて自分に関する話題から社会的な話題へと発展的な内容になるようによく工夫されている。</p>												
	(2) 思考力、判断力、表現力等を育むための、言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習	<p>○各学年3回のProjectは、創造的なアイデアを生かせる題材、身近なものから社会的な課題まで、自ら調べて提案したりディスカッションしたりして、思考力・判断力・表現力を高められるようによく配慮された設定・構成となっている。</p> <p>○2・3年生に位置づけられたディスカッション活動では、理由や根拠を具体的に考えられるよう活動の中に調べ学習が取り入れられており、生徒の思考力・判断力を高めるようよく工夫されている。</p>												
2	(1) 学習意欲を喚起したり、学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感したりすることができる題材や素材、資料等	<p>○各単元の最初に写真を載せ学習意欲を喚起すると共に単元で学習する内容や目標がイメージできるものになっている。写真をもとに会話から導入するパターンでは生徒の自由な発想を引き出せる。</p> <p>○年間に3回Projectが設定されていて、既習の言語材料や言語活動を生かして、日常生活や社会に関わる実践的な活動を行えるようよく工夫されている。</p>												
	(2) 家庭で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で学習を進めることができる内容や構成	<p>○QRコードで本文と語句の音声を聞くことができ、さらに巻末付録にAudio Scriptsが掲載されているため、繰り返し復習できるようよく工夫された内容となっている。また、1年生付録5では、発音の口の形が映像で説明されており、視覚的に分かるようよく配慮された内容となっている。</p> <p>○「文法のまとめ」での詳しい文法説明、For Self-studyでの「単語の覚え方」や「教科書以外での英語の学習方法」など、自主的に学習することができるよう、よく工夫された内容となっている。</p>												
3	<p>(1) 英語で理解したり表現したりする内容として、生徒の関心のある事柄から日常的な話題や社会的な話題までの提示</p> <p>(2) 効果的に英語学習を進めるためのICTの活用</p> <p>(3) 小学校での学習との関連に留意した内容の程度と分量</p>	<p>○1年生では日本の伝統文化、環境問題、車いすバスケットについて、2年生では環境問題、日本と海外の文化、3年生では平和、人権、AIやICT、バイオミメティクスなどの社会的な話題をよく配慮して取り上げ、国際社会に対応できる資質・能力を育てる意図がある。</p> <p>○Hello Everyone,とStarterで12ページをかけてLesson1に入るまでに小学校での学びの振り返りができる。Lesson1,2が小学校英語を引き継いだ会話から始まっていて「小学校で聞いたりした単語」の欄を設け、よく工夫された構成になっている。</p>												
4	(1) 教科書の重量やページ数	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">1年生 AB版</td> <td style="width: 15%;">360g</td> <td style="width: 15%;">7.1mm</td> <td style="width: 15%;">183 ページ</td> </tr> <tr> <td>2年生 AB版</td> <td>350g</td> <td>7.0mm</td> <td>175 ページ</td> </tr> <tr> <td>3年生 AB版</td> <td>360g</td> <td>7.1mm</td> <td>183 ページ</td> </tr> </table>	1年生 AB版	360g	7.1mm	183 ページ	2年生 AB版	350g	7.0mm	175 ページ	3年生 AB版	360g	7.1mm	183 ページ
	1年生 AB版	360g	7.1mm	183 ページ										
	2年生 AB版	350g	7.0mm	175 ページ										
3年生 AB版	360g	7.1mm	183 ページ											
(2) 文字の大きさ、字間、書体、行間、図版等	<p>○1年の書体はオリジナル手書きフォントが使われ読みやすい。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインを使用し、色遣いがよい。</p> <p>○1年で小文字を書きやすいように4線の幅が工夫されている。</p>													
(3) 上記以外の使用上の便宜	<p>○巻末付録は、36 ページ（1年生）50 ページ（2年生）、54 ページ（3年生）あり、会話表現集、補充単語、等が整理されている。</p>													

教科
外国語

種目
英語

意見書

発行者
教育出版

	着眼点	意見															
1	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるための、学年内及び学年間の系統性・発展性	<ul style="list-style-type: none"> ○ページ毎に think & try を配置するなど、学習したことを活用して文を作り、まとめや確認として活用できるようになっている。また、5つの領域がバランスよく配置されている。 ○1年生 Lesson9-3 では本文の内容に関わる表やグラフが用いてあり、相互の情報を結び付けて要点をとらえたりする力をつけることができるように工夫されている。 ○単元毎に Review のページで学習した言語材料や本文の内容を振り返り、Task で既習事項を活用して状況や場面に応じたアウトプットができるように構成してある。 															
	(2) 思考力、判断力、表現力等を育むための、言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習	<ul style="list-style-type: none"> ○3年間で8回の Project が、それぞれ2時間構成で配置されている。1年生ではグループでアンケート調査を行い、作ったグラフを活用しながら発表するなど、表現力を高める工夫がされている。 ○2年生の Project にある日本の名所や文化の紹介活動では、教科書に参考資料が和訳付きで複数提示されており、生徒の思考力・判断力・表現力を高める上での手助けとなるよう配慮されている。 															
2	(1) 学習意欲を喚起したり、学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感したりすることができる題材や素材、資料等	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元の最初に写真を載せ学習意欲を喚起すると共に単元で学習する内容がイメージできるものになっている。リスニングから導入するパターンは抵抗感が少なくよい。 ○年間に3回（1年生のみ2回）Project を設定し、既習の言語材料や言語活動を生かして、日常生活や社会に関わる実践的な活動を行えるようにしている。 															
	(2) 家庭で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で学習を進めることができる内容や構成	<ul style="list-style-type: none"> ○QRコードで本文の音声を聞くことができ、予習や復習で音読や発音練習ができるよう配慮されている。 ○各 Lesson の最後に Grammar が位置付けられており、文法の復習ができるようになっている。また、巻末の Activities Plus では、赤シートが付属品として付いており、答えを隠して繰り返し練習をすることができるよう、よく工夫された内容となっている。 															
3	(1) 英語で理解したり表現したりする内容として、生徒の関心のある事柄から日常的な話題や社会的な話題までの提示 (2) 効果的に英語学習を進めるためのICTの活用 (3) 小学校での学習との関連に留意した内容の程度と分量	<ul style="list-style-type: none"> ○1年生では異文化理解、ピクトグラム、環境問題について、2年生で環境問題、UD、福祉問題（手話・盲導犬）、3年生で環境問題（食品ロス、自然保護）、情報化社会などの社会的題材を取り上げ、国際社会の平和と発展に寄与する態度を育てる意図がある。 ○Springboard と Classroom English の章で、Lesson 1 に入るまでに、10 ページをかけて小学校で学習した、あいさつ、好きなもの、ローマ字、国、数字など基礎の復習をし、中学で学ぶ準備ができるようになっている。 															
4	(1) 教科書の重量やページ数	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">1年</td> <td style="width: 15%;">AB版</td> <td style="width: 15%;">375g</td> <td style="width: 15%;">7.3mm</td> <td style="width: 15%;">163ページ</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>AB版</td> <td>370g</td> <td>7.3mm</td> <td>167ページ</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>AB版</td> <td>370g</td> <td>7.3mm</td> <td>167ページ</td> </tr> </table>	1年	AB版	375g	7.3mm	163ページ	2年	AB版	370g	7.3mm	167ページ	3年	AB版	370g	7.3mm	167ページ
	1年	AB版	375g	7.3mm	163ページ												
	2年	AB版	370g	7.3mm	167ページ												
3年	AB版	370g	7.3mm	167ページ													
(2) 文字の大きさ、字間、書体、行間、図版等	<ul style="list-style-type: none"> ○ユニバーサルデザインフォントにより、1年生でも読みやすい。 ○ミシン目になった活動カードがある（各学年）。 ○カラーユニバーサルデザインを使用し、トーンがやさしい。 																
(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ○巻末付録が、31 ページ（1年生）38 ページ（2年生）、54 ページ（3年生）あり、会話表現集に赤色マスキングシートが付いている。 																

教科
外国語

種目
英語

意見書

発行者
光村図書

	着眼点	意見															
1	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるための、学年内及び学年間の系統性・発展性	<ul style="list-style-type: none"> ○文法ごとに単元を組むのではなく、必要な場面に応じて新出表現を配置しており、場面や状況に合わせてどのような表現が使えるのかわかりやすい。 ○学年の終末に Story Retelling が位置付けてあり、イラストやキーワードを足場にしながら学習した内容や表現を想起してリテリングの活動ができるように工夫されている。 ○各 Part に聞く、話す、読む、書く活動が位置付けてあり、1 単位時間で4 技能5 領域をバランスよく育てることができる。 															
	(2) 思考力、判断力、表現力等を育むための、言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習	<ul style="list-style-type: none"> ○各学年3 回の You Can Do It! が、それぞれ2 時間構成で配置されている。グループ対話を通して思考力を働かせたり、発表に向けて自分の意見を整理したりできる時間を設けるなど、思考力・判断力を高める工夫がされている。 ○ポスターセッション、クイズ大会やディスカッション等、話し合いながら作成・発表する活動など、思考を働かせる問題解決的・体験的な言語活動がバランスよく配置されている。 															
2	(1) 学習意欲を喚起したり、学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感したりすることができる題材や素材、資料等	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元の最初に写真やイラストを載せ生徒の学習意欲を喚起すると共に単元で学習する内容や目標がイメージできるものになっている。写真やイラストをもとに会話、リスニング、映像資料の流れで導入するパターンがよく工夫されている。 ○年間3 回の You Can Do It! では、既習の言語材料や活動を生かし、日常生活や社会に関わる実践的な言語活動を行えるようよく工夫されている。 															
	(2) 家庭で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で学習を進めることができる内容や構成	<ul style="list-style-type: none"> ○QR コードで本文の音声を聞くことができ、予習や復習で音読や発音練習ができるよう配慮されている。 ○巻末付録の「英語のしくみ」では、文の作り方や時制などつまずきやすいポイントを整理して提示されているため、詳しく英文の作り方が分かるようによく工夫された内容となっている。また、帯教材の Story Retelling や Let's Talk では、繰り返し Speaking や Writing 練習ができるようよく工夫された内容となっている。 															
3	<ul style="list-style-type: none"> (1) 英語で理解したり表現したりする内容として、生徒の関心のある事柄から日常的话题や社会的な話題までの提示 (2) 効果的に英語学習を進めるための ICT の活用 (3) 小学校での学習との関連に留意した内容の程度と分量 	<ul style="list-style-type: none"> ○1 年生では情報化社会について、2 年生ではピクトグラム、防災、世界遺産、3 年生では平和、環境問題、情報化社会、などの社会的な話題をよく配慮して取り上げて、グローバル社会に必要な英語の力・心・意欲を育てようという意図がある。 ○Let's Be Friends で21 ページをかけて Unit 1 に入るまでに小学校で学習した英語の基本表現を復習できる。Unit 1~3 は、本文の一部がコミックのセリフ形式になっていて、音声中心で徐々に中学の学習に慣れるようよく工夫されている。 															
4	(1) 教科書の重量やページ数	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">1 年生</td> <td style="width: 15%;">AB 版</td> <td style="width: 15%;">385g</td> <td style="width: 15%;">7.7mm</td> <td style="width: 15%;">175 ページ</td> </tr> <tr> <td>2 年生</td> <td>AB 版</td> <td>388g</td> <td>7.5mm</td> <td>175 ページ</td> </tr> <tr> <td>3 年生</td> <td>AB 版</td> <td>385g</td> <td>7.7mm</td> <td>175 ページ</td> </tr> </table>	1 年生	AB 版	385g	7.7mm	175 ページ	2 年生	AB 版	388g	7.5mm	175 ページ	3 年生	AB 版	385g	7.7mm	175 ページ
	1 年生	AB 版	385g	7.7mm	175 ページ												
	2 年生	AB 版	388g	7.5mm	175 ページ												
3 年生	AB 版	385g	7.7mm	175 ページ													
(2) 文字の大きさ、字間、書体、行間、図版等	<ul style="list-style-type: none"> ○1 年生の最初に観音開きのページがある ○会話活動のための帯活動ページがよく工夫されている。 ○入門期に学習しやすい独自の4 線対応のフォントが使われている。 																
(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ○巻末付録に、27 ページ（1 年生）32 ページ（2 年生）、46 ページ（3 年生）があり、発展的読み物、補充単語、等が整理されている。 																

教科
外国語

種目
英語

意見書

発行者
啓林館

	着眼点	意見												
1	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるための、学年内及び学年間の系統性・発展性	<p>○各単元の Part1～Part3 で言語材料を習得、Read & think で読み取りを行う構成になっており、「言語材料への慣れ親しみ」「知識・技能の習熟」「活用・定着」という学習過程を踏んで基礎的な知識・技能が身に付くよう配慮されている。</p> <p>○Project では、複数の Unit で学んだことを生かして4技能5領域を統合的に活用し表現することができるように工夫してある。</p> <p>○文法事項の配置やページの構成がシンプルで、生徒にとって見やすいよう配慮してある。</p>												
	(2) 思考力、判断力、表現力等を育むための、言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習	<p>○3年間で8回の Project はそれぞれ2時間で構成され、豊富な表現例から発表につなげることができる点はどの生徒にとっても思考の手助けとなるよう工夫されている。</p> <p>○1年生「自己紹介をしよう」2年生「学校を紹介しよう」3年生「日本の伝統行事を紹介しよう」というように、学年に応じて目的・場面・状況の広がりがあるように工夫されている。</p>												
2	(1) 学習意欲を喚起したり、学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感したりすることができる題材や素材、資料等	<p>○各単元の最初に写真を載せ学習意欲を喚起すると共に単元で学習する内容や目標がイメージできるものになっている。写真をもとに会話から導入するパターンでは生徒の自由な発想を引き出せる。</p> <p>○年間に3回（3年生のみ2回）Project を設定し、既習の言語材料や言語活動を生かして、日常生活や社会に関わる実践的な活動を行えるようにしている。</p>												
	(2) 家庭で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で学習を進めることができる内容や構成	<p>○QRコードで本文の音声を聞くことができ、予習や復習で音読や発音練習ができるよう配慮されている。「マスク」というアイコンを押すと日本語の意味が出たり消えたりするようになっており、意味も覚えることができるよう配慮された構成となっている。</p> <p>○Target に文法のポイントが解説され、さらに各単元の終わりに Target のまとめのページがあり、文法の復習ができるよう工夫された構成となっている。</p>												
3	<p>(1) 英語で理解したり表現したりする内容として、生徒の関心のある事柄から日常的な話題や社会的な話題までの提示</p> <p>(2) 効果的に英語学習を進めるための ICT の活用</p> <p>(3) 小学校での学習との関連に留意した内容の程度と分量</p>	<p>○1年生では情報化社会について、2年生ではピクトグラム、防災、世界遺産、3年生では平和、環境問題（プラゴミ、オゾン層）、AI、地域活性、などの社会的題材をよく配慮して取り上げ、持続可能な社会の担い手となるための資質・能力を培う意図がある。</p> <p>○Let's Start で16ページをかけて、小学校で学習したことを復習する中で、小学校で学習した基本がスパイラルに学習できるようよく工夫されたプログラム構成になっている。</p>												
4	(1) 教科書の重量やページ数	<table border="0"> <tr><td>1年生 AB版</td><td>330g</td><td>6.3mm</td><td>151ページ</td></tr> <tr><td>2年生 AB版</td><td>350g</td><td>6.3mm</td><td>159ページ</td></tr> <tr><td>3年生 AB版</td><td>320g</td><td>6.1mm</td><td>143ページ</td></tr> </table>	1年生 AB版	330g	6.3mm	151ページ	2年生 AB版	350g	6.3mm	159ページ	3年生 AB版	320g	6.1mm	143ページ
	1年生 AB版	330g	6.3mm	151ページ										
	2年生 AB版	350g	6.3mm	159ページ										
3年生 AB版	320g	6.1mm	143ページ											
(2) 文字の大きさ、字間、書体、行間、図版等	<p>○UDFONT（ユニバーサルデザインフォント）が使われている</p> <p>○4技能5領域を示すマークと学習のめあてが明記してあり、身につける技能を意識した学習ができる。</p>													
(3) 上記以外の使用上の便宜	<p>○巻末付録に、29ページ（1年生）30ページ（2年生）38ページ（3年生）があり、英語の歌、会話表現集、等が整理されている。</p>													